

平成 25 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業

施設等維持管理

行政事務

事務事業名	健康をテーマにした産品開発（オリーブ試験栽培）	予算事業名		担当課	魅力づくり推進課						
会計名称	一般会計	予算科目	2 款 1 項 14 目	所属長名	久芳義則						
総合計画での位置づけ	地域資源を活かし、新たな発展を生む産業をつくる			担当責任者名（記入者）	安部 憲一郎						
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等	電話番号（内線）							
事業の対象	町民		実施期間	【開始年度】	平成 23 年度						
				【終了年度】	平成 28 年度（予定） <input type="checkbox"/> 設定なし						
事業の目的	オリーブオイルによる食生活の改善により住民の健康を推進するため、本庁はオリーブ栽培に適しているか、又効果的品種等を調査するため試験栽培をする。		事業の内容	本町におけるオリーブの適性等（品種・収量・成分）を見るため、国産5年生、イタリア産3年生を10品種試験栽培を行う。							
改善策の具体的な取り組み（当初）	害獣からの被害を最小限に抑えるために、防護ネットの強化、罠の設置等の対応をとる		改善策の具体的な取り組み（二次評価後）	育成を促進させるため専門家を招聘し、栽培や剪定方法等について指導を受けた							
事業費及び財源内訳（千円）											
項目		24 年度決算	25 年度予算	9月末の執行状況	25 年度決算						
事業費	直接事業費	688	1,056		1,056						
	人件費	364	353		353						
	合計	1,052	1,409		1,409						
財源内訳	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源	1,052	1,409		1,409						
事務量	① 人工数	0.05	0.05		0.05						
	② 人件費単価	7,289	7,073		7,073						
	③ 補助事業人件費										
	人件費（①×②-③）	364.45	353.65		353.65						
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度						
		725	700	700	700						
成果指標	収穫量及び搾油量	区分年度	24 年度	25 年度	26 年度						
		実績	1	7							
指標設定の考え方	試験栽培の適性の判定は収量及び搾油量の増により行われるため	目標	5	20	20						
		目標									
今年度の課題への対応状況（途中経過）		樹木の育成についてより効果的な栽培方法を検討する									
事務事業の一次評価	自己評価（担当者）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的そのものである。 4 施策の目的に沿ったものである。 3 施策の目的に全くそぐわない。 2 1	3	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E	C	自己の課題認識	適性な剪定や施肥等の管理により、実の収量増を目指す。		
			町民ニーズへの対応	5 町民ニーズに直結する。 4 受益者のニーズは捉えている。 3 町民ニーズを捉えたものと言えない。 2 1	2						
			町の関与の妥当性	5 町が積極的に関与すべきものである。 4 今のところ関与は妥当と判断できる。 3 町が関与すべきでない。 2 1	4						
		有効性	事業の効果	5 町民がおおいに満足している。 4 町民がほぼ満足している。 3 町民が満足していない。 2 1	2						
			成果向上の可能性	5 具体策が明確で、成果実績が向上している。 4 具体策が明確で、成果の向上が期待できる。 3 問題を解決できる見込みが全く無い。 2 1	3						
			施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に必要である。 3 施策推進につながらない。 2 1	4						
	効率性	手段の最適性	5 活動指標が向上し、新しい活動指標を設定できる。 4 計画・手段が効率的である。 3 活動指標の実績が上がらず、効率的な手段でない。 2 1	3							
		コスト効率	5 予算額内で目標以上の成果実績の向上が見られた。 4 予算額内で目標の80%以上の実績をあげた。 3 成果実績に対して、予算額が過大である。 2 1	2							
		受益者負担の適正	5 コスト効率が良く、サービスとのバランスが良い。 4 適当な受益者負担と判断できる。 3 コスト効率が悪く、受益者以外の負担が大きい。 2 1	3							
		一次評価	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的そのものである。 4 施策の目的に沿ったものである。 3 施策の目的に全くそぐわない。 2 1	4	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E			B	将来的な活用の手法についても今後は検討を行う必要があると考える。
				町民ニーズへの対応	5 町民ニーズに直結する。 4 受益者のニーズは捉えている。 3 町民ニーズを捉えたものと言えない。 2 1	4					
				町の関与の妥当性	5 町が積極的に関与すべきものである。 4 今のところ関与は妥当と判断できる。 3 町が関与すべきでない。 2 1	4					
有効性	事業の効果	5 町民がおおいに満足している。 4 町民がほぼ満足している。 3 町民が満足していない。 2 1	3								
	成果向上の可能性	5 具体策が明確で、成果実績が向上している。 4 具体策が明確で、成果の向上が期待できる。 3 問題を解決できる見込みが全く無い。 2 1	3								
	施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に必要である。 3 施策推進につながらない。 2 1	3								
効率性	手段の最適性	5 活動指標が向上し、新しい活動指標を設定できる。 4 計画・手段が効率的である。 3 活動指標の実績が上がらず、効率的な手段でない。 2 1	4								
	コスト効率	5 予算額内で目標以上の成果実績の向上が見られた。 4 予算額内で目標の80%以上の実績をあげた。 3 成果実績に対して、予算額が過大である。 2 1	3								
	受益者負担の適正	5 コスト効率が良く、サービスとのバランスが良い。 4 適当な受益者負担と判断できる。 3 コスト効率が悪く、受益者以外の負担が大きい。 2 1	4								

事務事業名	健康をテーマにした産品開発（オリーブ試験栽培）	予算事業名		担当課	魅力づくり推進課
会計名称	一般会計	予算科目	2 款 1 項 14 目	所属長名	久芳義則
総合計画での位置づけ	地域資源を活かし、新たな発展を生む産業をつくる			担当責任者名（記入者）	安部 憲一郎
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等	電話番号（内線）	
事業の対象	町民	実施期間	【開始年度】	平成 23 年度	
			【終了年度】	平成 28 年度（予定） <input type="checkbox"/> 設定なし	
事業の目的	オリーブオイルによる食生活の改善により住民の健康を推進するため、本庁はオリーブ栽培に適しているか、又効果的品種等を調査するため試験栽培をする。		事業の内容	本町におけるオリーブの適性等（品種・収量・成分）を見るため、国産5年生、イタリア産3年生を10品種試験栽培を行う。	
改善策の具体的な取り組み（当初）	害獣からの被害を最小限に抑えるために、防護ネットの強化、罾の設置等の対応をとる		改善策の具体的な取り組み（二次評価後）	育成を促進させるため専門家を招聘し、栽培や剪定方法等について指導を受けた	

（自己評価） 担当者評価	妥当性	目的の妥当性	3	C	B	目的の妥当性	4	妥当性	一次評価
		町民ニーズへの対応	2			町民ニーズへの対応	4		
		町の関与の妥当性	4			町の関与の妥当性	4		
	有効性	事業の効果	2	C		事業の効果	3	有効性	
		成果向上の可能性	3			成果向上の可能性	3		
		施策への貢献度	4			施策への貢献度	3		
	効率性	手段の最適性	3	C		手段の最適性	4	効率性	
		コスト効率	2			コスト効率	3		
		受益者負担の適正	3			受益者負担の適正	4		
課題認識	適宜な剪定や施肥等の管理により、実の収量増を目指す。				自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。				
課題認識					将来的な活用の手法についても今後は検討を行う必要があると考える。				

施策を踏まえた判断	二次評価（所属長）	<input type="checkbox"/>	一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。	
		<input type="checkbox"/>	町民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。		
				行政評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 【評価 C：事務事業の規模・内容の見直しを検討する必要がある】 計画と期待が混在して事業が進んでしまっているように感じ、試験栽培終了後の事業展開には疑問が残る。住民に苗木を配布し、栽培してもらうとなると、町一体となって取り組まなければいけないが、それには住民との意見の一致が必要である。住民が賛同できる事業展開を試験期間中に検討されたい。他の事例を見れば、平成28年度まで試験栽培を行う必要はないかもしれない。具体的に生産性、コスト、売価などのシミュレーションが必要である。
------------	------	---

経営者会議の最終判断	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。	コメント欄 試験栽培を平成27年度で終了する。試験栽培後は、住民に各戸で栽培してもらう計画は見直し、今後の事業展開については平成27年度中に取りまとめ、具体的計画を策定する。
------------	--------	--	--